

令和8年度入学 社会福祉学部 一般選抜・前期 試験問題の出典

種別	大問番号	著者名	著作物名	書名等	版元
総合問題	①	山口 慎太郎	子育て支援の経済学	2021年 pp.81-84 より 一部改変	日本評論社
	②	小林 亜津子	QOLって何だろう 医療とケアの生命倫理	2018年 pp.9-15 より 一部改変	筑摩書房
	③	The Mainichi	Editorial: Japan needs rules to deal with rising number of unclaimed remains of the dead	Thursday, May 15, 2025 より 一部改変	The Mainichi
	④ 表	国立社会保障・人口問題研究所	日本の世帯数の将来推計 (都道府県別推計) —— 令和2(2020)～32(2050)年 ——	令和6(2024)年推計 より 一部改変	国立社会保障・人口問題研究所

令和 8 年度 一般選抜・前期

社会福祉学部

総 合 問 題 (120 分)

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この冊子は、10 ページあります。なお、下書き用紙が 2 枚あります。
- 3 試験中に問題冊子及び解答用紙の印刷不鮮明、ページの脱落などがあった場合は、手を挙げて試験監督者に知らせなさい。
- 4 解答は、必ず黒鉛筆(シャープペンシルも可)で記入し、ボールペンや万年筆などを使用してはいけません。
- 5 解答用紙には、氏名及び受験票と同じ受験番号を忘れずに記入しなさい。
- 6 解答は、必ず解答用紙の指定された箇所に記入しなさい。
- 7 下書きの必要があれば、下書き用紙を利用してかまいません。
- 8 試験終了後、問題冊子と下書き用紙は持ち帰りなさい。

1 次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。(配点 140 点)

育休制度の二本柱は、「雇用保障」と「給付金」だ。雇用保障があるということは、育休をとってもそれが理由でクビになったり、給料を下げられたりといった不利な扱いを受けないということである。もちろん、実態がこのとおりにはなっていないという懸念はつきまとうが、制度の趣旨としては育休取得者の立場は保護されている。もう1つの柱である給付金は、育休前の^(ア)キム状況と所得に応じて受け取れるお金のことである。給付金は公的雇用保険から支払われているため、育休取得による給付金の支払いが雇用主の経営を^(イ)アップクするということはない。このほかにも、社会保険料の減免や、育休取得を促進するための企業向け^(ウ)ホジョ金等が用意されている国もある。

育休制度そのものは、ほとんどの先進国で取り入れられているが、その手厚さは国によって大きく異なる。図は育休(厳密には、産前産後休暇も含まれている)による雇用保障の期間(週数)をいくつかの国々について示したものだ。1番短いのはアメリカで、わずか12週にすぎない。一方、ヨーロッパでは育休期間が長い傾向にあり、フランス、ドイツ、フィンランドといった国々では[A]年近くにもわたる。日本は、韓国、カナダ、オーストラリアといった国々とほぼ同水準で、原則として子どもが[B]歳に達するまで育休をとることができる。

(中 略)

育休が労働者にとってメリットのあるものだったとしても、なぜそれを政府が制度化して、一律に企業に守らせる必要があるのだろうか。育休が労働者にとって魅力的なものであるならば、採用や従業員定着のために、企業は自発的に育休を整備するのではないだろうか。あるいは、育休を提供することで給料を少し低めに設定しても優秀な労働者を集められるなら、企業にとっても育休を整備することにはメリットがあるはずだ。労働者のなかにも、育休が整備されているなら、多少の給料減は問題にならず、魅力的に映るという人はいるだろう。したがって、政府が労働市場に介入して育休を法制化しなかったとしても、育休は福利厚生の一環として⁽¹⁾自発的に提供された可能性もあるはずだ。しかし実際には、ほとんどの先進国で1年以上にもわたる育休が法制化されている。なぜ、労働市場における企業と労働者の自由な意思決定に任せてはいけなかったのだろうか。

経済学からの最も標準的だと思われる答えは、情報の非対称性から生じる逆淘汰(あるいは逆選択)^(注)の問題だ。労働者のなかには、育休制度があればぜひ利用したいと思っている人と、利用するつもりのない人の2種類が存在するものとしよう。さらに、労働者本人は自分が育休を使うつもりかどうかを知っているものの、企業側にはわからないものとする。もちろん、年齢や性別などから当たりをつけることはできるが、実際に誰が育休をとる予定なのかを正確には知ることができない。企業は面接などで聞き出そうとするかもしれないが、労働者側からすれば本心を明かす必要もない。労働者は自身の育休利用意向を知っているが、企業は知らないという意味で、ここには情報の非対称性がある。

こうした条件のもとで、企業が自発的に育休を提供するかどうかを考えてみよう。育休の提供には一定のコストがかかるので、ある程度給料を抑えなければいけないが、具体的にどの程度抑えるかを事前に決めておかなければならない。どの個人が実際に育休を取得するかはわからないため、世の中の平均的な育休取得意向から計算して、提示する給料の金額を決めることになるだろう。そのように決めた給料は、育休をとるつもりの人には魅力的なものに映るため、育休取得意向のある人をひきつけるだろう。一方、育休をとるつもりのない人からすれば、給料が減っている分だけ魅力を感じず、育休がない代わりに給料が高い企業を求めるだろう。結果的に、この企業には育休をとるつもりの人だけが集まってしまい、企業側からすると大きなコストを支払わされることになる。このため、他社との競争上不利な立場に置かれる。こうした仕組みが働くことが予想されるため、情報の非対称性がある環境においては、企業は育休を提供することに及び腰になってしまう。つまり、育休にメリットがあったとしても、企業の自発的な取り組みに任せていると、いつまでたっても育休は広まっていけないのだ。⁽²⁾

この問題を解決する1つの方法が、すべての企業に一律に育休を義務づけて、そのコストを広く労働市場全体で共有することだ。また、上で述べたように育休給付金の原資は社会保険料であるから、企業側だけでなく、労働者側も費用を^(エ)フタンしており、育休のコストを社会全体に^(オ)ウスく広くいきわたらせることで公平性にも配慮した制度設計になっている。

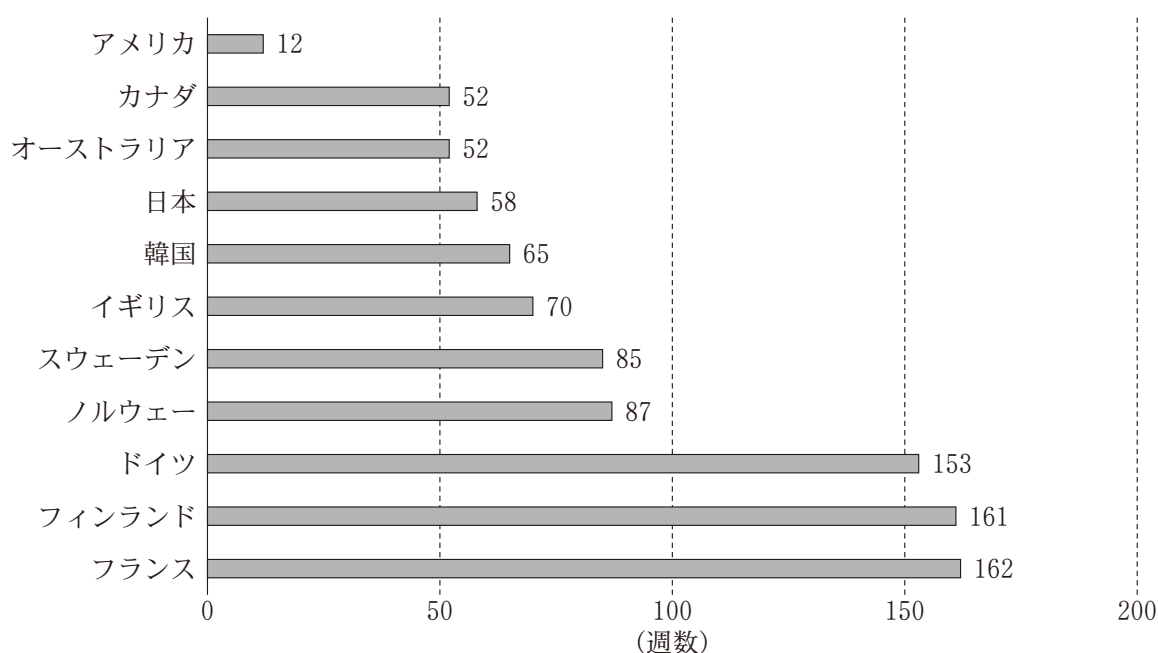


図 育休による雇用保障の期間

(山口慎太郎『子育て支援の経済学』, 日本評論社, 2021 年, pp.81-84 より, 一部改変)

(注) 情報の非対称性があるために、望ましくない取引相手が選択されてしまうこと。

問 1 下線部(ア)～(オ)のカタカナを漢字にしない。

問 2 本文中の空欄 A と B に入る適切な数値を入れなさい。

問 3 下線部(1)「政府が労働市場に介入して育休を法制化しなかったとしても、育休は福利厚生の一環として自発的に提供された可能性もあるはずだ」とあるが、著者がこのように考える理由について 100 字以上 120 字以内で説明しなさい。

問 4 下線部(2)「育休にメリットがあったとしても、企業の自発的な取り組みに任せていると、いつまでたっても育休は広まっていけないのだ」とあるが、それはなぜか。150 字以上 180 字以内で説明しなさい。

QOL という言葉を聞いたことがあるでしょうか。

QOL は ^{クオリティ オブ ライフ} “Quality of Life” の略語で、「生命の質」や「生活の質」、あるいは「人生の質」とも訳される生命倫理学のキーワードです。

“Life” は、私たちが人間として生きる姿を、様々な角度から表現している言葉です。

Life は「いのち」「生きていること」を指す言葉であり、あるいは生き方、日常の生活や暮らし方でもあり、さらには、私たちの人生や生涯、この世に生きることそのものをも意味しています。

Quality of Life は、その「よさ(質)」を問います。

「生命の質」^(a) と言えば、生きることの意味や価値が問われ、人間の生命の尊厳^(ア)や、苦痛のない「いのちの状態」が問題となります。

「生活の質」と表現すれば、病気を抱えながらも、できるだけ普段通りの生活を送れることや、^(b) 自立して生きられること(これは人間の幸福感の源です)を目指そうとし、「人生の質」^(c) と言えば、その人の「生きがい」、自分らしく生き切ること、自分の人生観に沿った生き方が実現できるかが注目されます。

つきつめれば、QOL は、そのいのちを生きる本人にとっての「幸福」や「満足」を意味しているのです。

私たちは誰もがみな、自分の “Life” の「よさ」を追求しながら、毎日を生きています。健康に生きることを心がけたり、スポーツや趣味などに夢中になりながら時間を過ごしたり、あるいは、「自分らしい」生き方や「生きがい」を模索しながら、本を読み漁^{あさ}ったり、将来の進路について、自分にとってより「よい」人生の選択をするために、あれこれと思いをめぐらせたりしています。

その私たちが求めている人生や生活、いのちの「よさ」を、生命倫理学では QOL と表現しています。

QOL は、おもにこれまで、医療やケアの倫理問題を扱う際に使われてきた概念でした。その最もオーソドックスな解釈は、古代ギリシアの哲学者プラトンがソクラテスに語らせた、つぎの言葉に象徴されています。

^(イ) 「大切なのは、ただ生きることではなく、よく生きることである。」(『クリトン』)

古来より、倫理学が目指してきたものは、「よく生きる」ことでした。

古代ギリシアでは、それは、^{ちえ} 智慧や^{かな} 勇気、正義(善)に適った生き方をすることであり、キリスト教では、信仰や愛に生きることであり、さらに儒教においては、仁、義、礼、智、信などの徳目^(ウ)として表されてきました。そして、高度に発達した現代医療では、それが Quality of Life という言葉で表現されているのです。

読者のみなさんにとって、「よく生きる」とは、どのようなことでしょうか。難しく考える必要はありません。みなさん自身が「楽しい」とか「ワクワクする」とか、「これをしているときに幸せ」と思えることでもいいのです。

(中 略)

「生きがい」としての QOL は、高齢や病気のために衰弱した人にとっても、その生命を支えてくれる A ものとなります。病に伏して、身寄りもなく、1 日の大半をベッドに寝て過ごすという人たちのなかにも、テレビを観ることが、何よりの「生きがい」で、「だから今日も生きる」という人たちがいるのです。

ある本で、回復の見込めない高齢の患者さんが多く入院している病棟での、不思議なエピソードを読んだことがあります。

その病棟では、医療者が首をかしげてしまう不可思議な現象が起きていました。「もう長くはないでしょう。」そう言われていた患者の多くが、なぜか容態を持ち直し、ずっと小康状態を保っているのです。⁽¹⁾
^(エ)

医療者にとって、このようなことは、初めての経験でした。さらに、お昼近くの時間帯になると、なぜだか患者たちの目がキラキラと輝き出してくるのです。

しばらくして、その理由が分かりました。彼らは、当時、国民的な人気を博していた、NHK のドラマ『おしん』を観ることを楽しみにしていたのです。ヒロインの「おしん」が生き抜いてきた時代は、患者が生きてきた時代とぴったりと一致していました。彼らは、おしんの生きざまのなかに、自分自身の人生を重ねて見ていたのでしょう。

病棟のスケジュールでは、リアルタイムでの朝の放送を視聴することができなかったのも、みんな、お昼の再放送を楽しみにしていたというわけです。

しばらくその状態が続いていたのですが、ある日、病棟の廊下から、病室のなかにまではつきりと聞こえる大きさで、無神経な声が響いてきました。⁽²⁾

「『おしん』が、もうすぐ終わっちゃうんだって！」

その後、どうなったと思いますか。

それを聞いた患者さんたちは、見る見るうちに衰弱していき、最終回の前後に、何人もの人たちが、相次いで亡くなってしまったのです。

『おしん』を観たかったから、生き長らえていたなんて、医学的には説明がつかないことですね。

これらのエピソードが物語っているのは、人間は、希望があるからこそ生きられるということです。それは、私たちはみな「ただ生きている」のではなく、「よく生きること」「生きがい」を求めながら生きていることを意味しています。

だから QOL は、自分で感じ取り、自分で選び取るものです。「自分にとって何が好ましいのか」「幸福なのか」は、言うまでもなく、その人生を生きる本人にしか分からないからです。

みなさんにとって、QOL を生き生きと高揚させてくれるものは何でしょうか。

QOL の問いかけを深めていくことは、私たち自身のなかに眠っていた、いのちに対する根源的な問いを、次第にゆさぶり起こすことにつながっていきます。^(オ)
⁽³⁾

(小林亜津子『QOL って何だろう 医療とケアの生命倫理』、筑摩書房、2018 年、pp.9-15 より、一部改変)

問 1 下線部(ア)～(オ)の漢字の読み仮名を書きなさい。

問 2 本文中の

A

 に入るもっとも適当な語句を、次の選択肢から 1 つ選んで記入しなさい。

かけがえのない，とりとめのない，やりきれない，かぞえきれない

問 3 下線部(1)「医療者が首をかしげてしまう不可思議な現象」のエピソードは，「患者の QOL がよかった」ことを意味している。このエピソードは，それぞれ下線部(a)「生命の質」，(b)「生活の質」，(c)「人生の質」のうち，どれにもっとも当てはまるか，1 つ選びなさい。

問 4 下線部(2)「無神経な声」とは，直後の下線部「『おしん』が，もうすぐ終わっちゃうんだって！」に対して表現されたものであるが，そう表現されたのはどのような理由か。本文の内容に即して，80 字以上 100 字以内で説明しなさい。

問 5 下線部(3)「私たち自身のなかに眠っていた，いのちに対する根源的な問いを，次第にゆさぶり起こすこと」と同じ意味で使われている語句を，本文中から 15 字以内で抜き出しなさい。

3 次の英文を読み、あとの問いに答えなさい。(配点 110 点)

The number of elderly people living alone is growing steadily in Japan, and municipalities increasingly [ア] cases where no one is available to claim bodies after death. Clearer rules and guidelines are urgently needed.

When a deceased person has no known relatives or when surviving family members are estranged and unable to take responsibility, municipal governments step in to carry out cremation or the burial of ashes. A survey discovered that such cases reached an estimated 42,000 or so nationwide in 2023, accounting [イ] 2.7% of all deaths. 1

The survey also shed light on major discrepancies among local governments in handling unclaimed bodies and remains.

After receiving notification from hospitals or police, some municipalities cremate deceased individuals while they are attempting to reach surviving relatives [ウ] the latter can take (1) possession of the remains, while others pay funeral companies high fees and arrange long-term frozen storage. 2

Likewise, there are no standardized procedures concerning personal effects left behind by the deceased. Only about 10% of municipalities currently have clearly defined manuals outlining the handling and disposal of such possessions.

In many advanced countries, local governments bear a clear legal mandate [エ] providing burial services and graveyard space. Traditionally, Japan has relied heavily on families or local community members to handle funerals as social customs.

But the number of elderly people living alone now exceeds 6.7 million, and by 2050 is projected to reach 10 million. Consequently, cases of unclaimed bodies will inevitably continue to increase, potentially overwhelming existing approaches. Immediate discussion is needed to clarify the roles at both the national and local government levels. 3

On the other hand, funeral customs are deeply ingrained within personal beliefs and regional cultures. Such a sensitive matter cannot be rigidly standardized, and naturally there (2) are practical limits to the interventions that governments alone can take.

One practical approach is [オ] senior citizens to clearly record preferences for their funeral arrangements and ceremonies ahead of time, ensuring that their wishes are respected.

Japan's elderly population is expected to peak around 2040. [カ] a society where annual deaths will sharply increase, it is necessary to create frameworks that enable everyone (3) to face life's conclusion without unnecessary anxiety. 4

(*The Mainichi*, "Editorial: Japan needs rules to deal with rising number of unclaimed remains of the dead", Thursday, May 15, 2025 より, 一部改変)

(注) municipality 自治体	deceased 亡くなった
estranged 疎遠になっている	cremation 火葬
shed light on 明らかにする	discrepancy 不一致
notification 通知	be projected 予測される
inevitably 必然的に	be ingrained 根付く
rigidly 厳格に	intervention 介入

問 1 以下に与えられた全ての単語を並べかえ、文中の空欄[ア]に入る英語表現を書きなさい。

deal, find, struggling, themselves, to, with

問 2 文中の3つの空欄[イ]に共通して入る前置詞を以下から1つ選び、英語で書きなさい。

for, in, of, with

問 3 文中の空欄[ウ]に入る接続詞を以下から1つ選び、英語で書きなさい。

although, because, if, so

問 4 下線部(1)の代用表現 the latter が指示する語句を、文中から抜き出し、英語で書きなさい。

問 5 下線部(2)が表す内容を、本文の記述にしたがって日本語で書きなさい。

問 6 文中の空欄[エ]に入る最も適切な語句を以下から1つ選び、英語で書きなさい。

Face, Faced, Facing, Having faced

問 7 下線部(3)を日本語に訳しなさい。

問 8 以下の英文が最も適切に挿入される段落の末尾を、文中の空欄

1

 から

4

 の中から1つ選び、番号を書きなさい。

Approaches to handling cremated ashes also vary greatly.

- 4 次の表は、日本の世帯数の将来推計を都道府県別に示したものである。後の図は、岩手県における「世帯主 65 歳以上の世帯総数」、「世帯主 65 歳以上の単独世帯数」、「世帯主 65 歳以上の世帯総数」に占める「世帯主 65 歳以上の単独世帯数」の割合の推移を表している。以下の問いに答えなさい。(配点 110 点)

表 日本の世帯数の将来推計(都道府県別)

都道府県	世帯主 65 歳以上の世帯総数の推移 (1,000 世帯)				世帯主 65 歳以上の 単独世帯数の推移(1,000 世帯)			
	2020 年	2030 年	2040 年	2050 年	2020 年	2030 年	2040 年	2050 年
全国 ^(注)	20,973	22,396	24,117	24,041	7,378	8,870	10,413	10,839
北海道	985	1,020	1,045	995	377	424	467	460
青森県	231	242	237	218	76	90	96	91
岩手県	216	228	225	210	66	80	87	85
宮城県	355	400	429	437	107	144	171	182
秋田県	191	196	184	165	58	69	71	66
山形県	182	190	182	170	46	57	61	60
福島県	310	341	343	327	96	121	135	134
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
東京都	2,055	2,203	2,617	2,822	890	1,035	1,321	1,483
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

(注) 表中の「全国」の数値は、47 都道府県の合計値である。

(国立社会保障・人口問題研究所『日本の世帯数の将来推計(都道府県別推計)—令和 2 (2020)～32(2050)年—〔令和 6 (2024)年推計〕』より、一部改変)

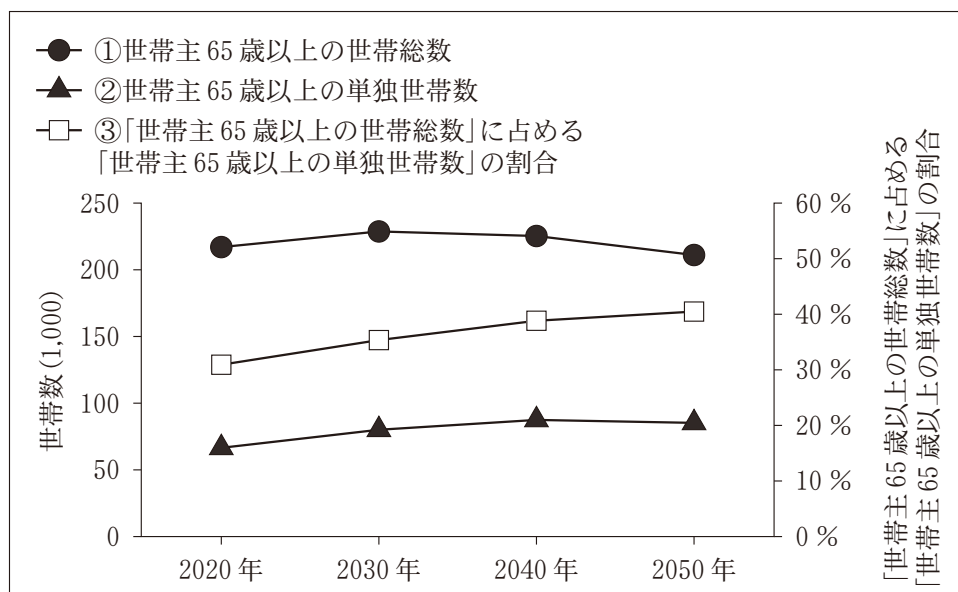


図 岩手県における「世帯主 65 歳以上の世帯総数」、「世帯主 65 歳以上の単独世帯数」、「世帯主 65 歳以上の世帯総数」に占める「世帯主 65 歳以上の単独世帯数」の割合の推移

問 1 2020 年と 2050 年について、全国における「世帯主 65 歳以上の世帯総数」に占める「世帯主 65 歳以上の単独世帯数」の割合を百分率(パーセント)で算出しなさい。なお、解答欄には、小数第 2 位を四捨五入して、小数第 1 位までの数値を記入しなさい。また、答えに至るまでの過程がわかるよう、計算式も記入しなさい。

問 2 岩手県における「世帯主 65 歳以上の世帯総数」と「世帯主 65 歳以上の単独世帯数」のそれぞれについて、2020 年に対する 2050 年の増加率を百分率(パーセント)で算出しなさい。なお、解答欄には、小数第 2 位を四捨五入して、小数第 1 位までの数値を記入しなさい。また、答えに至るまでの過程がわかるよう、計算式も記入しなさい。

問 3 表の 2050 年の推計値について、全国の平均値と比べて東北地方 6 県それぞれの「世帯主 65 歳以上の世帯総数」および「世帯主 65 歳以上の単独世帯数」の推計値はどのような特徴といえるか。次の選択肢より最も適当なものを選び、選択肢の番号を記入しなさい。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1 東北地方の各県の 2 つの推計値はともに全国平均と同程度である。2 東北地方の各県の 2 つの推計値はともに全国平均を下回る。3 東北地方の各県の 2 つの推計値はともに全国平均を上回る。 |
|--|

問 4 2020 年から 2050 年の推移について、図から読み取れることは何か。(1)および(2)について答えなさい。

(1) 図中の「①世帯主 65 歳以上の世帯総数」、「②世帯主 65 歳以上の単独世帯数」、「③『世帯主 65 歳以上の世帯総数』に占める『世帯主 65 歳以上の単独世帯数』の割合」それぞれの推移についての説明として最も適当な組合せはどれか。次の選択肢から選び、番号を記入しなさい。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1 ①増加から減少に転じる, ②増加から減少に転じる, ③上昇しつづける2 ①増加から減少に転じる, ②増加しつづける, ③上昇しつづける3 ①増加しつづける, ②増加から減少に転じる, ③上昇から下降に転じる4 ①増加しつづける, ②増加しつづける, ③上昇から下降に転じる |
|---|

(2) 世帯数と割合の推移のパターンが異なる理由を 50 字以上 100 字以内で述べなさい。